

ミネトワダカワゲラ

Scopura montana Maruyama

カワゲラ目トワダカワゲラ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

低水温域に生息する昆虫であるため、その分布が限定されるようである。

形態

成虫の体長は13~35mm。体は暗褐色で、無翅の昆虫であり、水生生活をするので腹部末端に環状鰓をもつ。

国内分布

北海道、東北、関東、甲信越、北陸に分布する。

県内分布

加賀市、小松市、能美市（旧辰口町）、白山市（旧鶴来町、旧白峰村）、金沢市、宝達志水町から記録がある。

生態

水温10°C前後の冷水域の清流に生息する、氷河期の遺存昆虫ともいわれている。

生息地の条件

清流でかつ、冷水温域が生息の条件である。

生存の危機

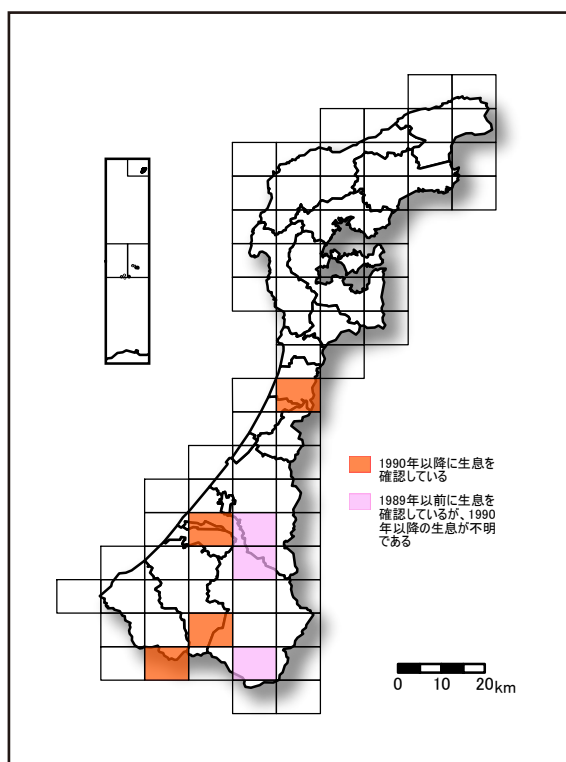
道路整備や洪水による溪流への土砂の流入がなされると、生存が危ぶまれる。(A)

参考文献

富樫一次 1960. 加賀白山のカワゲラ類. 生物研究(福井), 4 : 3.



写真提供者: 金山晃



県内の分布